

市民と議会を結ぶ架け橋

議会だより

上野原市


No.53
平成30年
5月発行

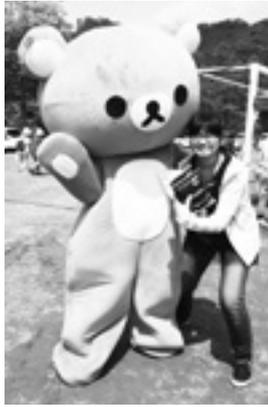
3月定例会



特集

うえのはらで頑張る人
ボランティアサークル積希

特集	2
議長就任あいさつ	4
定例会で決まった主なこと	6
30年度予算	8
議決結果等一覧表	12
一般質問	13
市民の声	20



うえのはらで頑張る人 vol.6

ボランティアサークル積希



積希：つみきと読みます。帝京科学大学の学生ボランティアサークルです。地域の行事に出かけ、物品販売や企画のお手伝いをしています。地域の人々と触れ合うことを何よりも楽しみにしているという若者たちです。

地域の人々と交流で達成感

物販や着ぐるみでお手伝いをしています

どんなサークルですか。

■ 上野原♡ハート(女川町支援ボランティア)やJC(上野原青年会議所)、社協(市社会福祉協議会)から依頼をいただいて、ナイトバザールや商工祭などで物品販売のお手伝いをしたり、着ぐるみの中に入ったりします。最近、空き家の掃除などの依頼もあります。

■ 何もなくても週2回は集まって親睦を図っています。



■ 10人くらいで活動しています。

どんな思いで活動していますか。

■ 地域の人と交流したいと思っていましたが、なかなか一人で何かするというのは難しく、友だちの話を聞いて、おもしろそうだなと思いました。

■ もともとボランティアに興味があり

ました。サークルの説明会に行つて、メンバーの方々と親しくなつて、この人たちとボランティア活動をしたら楽しいだろうなと思つて参加しました。

■ お祭りなどに行くと、人がたくさん出てきて、いつもはどこにいるんだろつて思つてしまいます。それが、とても面白く感じます。

■ 大学の近くには、ランドセルを背負つた小学生が全然いないんです。たくさん地域の方を見ることができると、それだけで達成感が得られます。

どんなことを学んでいますか。

■ 私は、アニマルサイエンス学科ですが、範囲は広くて、ペットもあれば、野生動物もあるし、動物園の飼育動物もあります。動物を使ったセラピー、動物園の動物の飼育、野生動物と人間とのかわりなど、色々な授業があります。

■ 大学で学んだことを生かすとなると、夢を追いかけることになり、経済的に厳しいことがたくさんあります。動物園や水族館の飼育員やトリマーなどの職業に就く人もいます。

■ 大学というのは、視野を広める場所と考えれば、学びたいことを学べたという意味では、いい経験だと思つています。

上野原はどんなところですか。

■ 引越して来た時、親から「ほんとに何にもないんだ」と言われました。

■ 通学がちよとめんどくさい、やつぱり坂が。あと、電車の本数が少ないことでしょうか。

■ AO入試の面接に来ていた時に、緊張していましたが、バスの中から鷲がたくさん飛んでいるのを見て、リラックスしました。上野原の自然は大切にしたいと思つています。

議会を傍聴してどうでしたか。

■ 私は社会科学系が苦手で、社会に對して目を背けてきたことをい

けないなと思つて、この前、議会傍聴をしました。いろいろな話



が聞けて、楽しかったです。思つていたより、つらくないということを知ることができました。

市や議会に対する要望は。

■ 積希のことなど大学のこともっと広めてほしい、市の情報を学生にも広めてほしい。



■ 学科ごとの掲示板があるので、そこに貼つてもらふと、目に留まりやすいかもしれせん。

■ お祭りの情報など、学生メールで知らせてもらふと、学生には伝わりやすいと思います。

取材を終えて

地域と交流したいと思つている学生がいることに感動しました。大学のことを何も知らないと感じました。もっと情報を交換でき、地元の活性化につながれば、お互いのためによいと思いました。

市議会が始動!!

3月5日、第1回定例会が開会され、正副議長の選挙並びに常任委員会委員・議会運営委員会委員の選任などが行われました。

今後は、新たな体制で議会活動を行います。



副議長 小俣 修



議長 山口好昭

議長 山口好昭 氏就任
副議長 小俣修 氏就任

議長就任あいさつ

議長就任に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。このたび議長選挙にあたり指名推薦で当選という栄誉を頂きました。身に余る光栄でありましてその重責に身の引き締まる思いです。この上は中立・公平・公正を肝に銘じて職務に取り組む所存であります。当市においては全国自治体同様、人口減少に歯止めがきかず大変厳しい状況にあります。しかし、このようなときこそ、市民の知恵を集約、市民が結集していく必要があります。議会は、市民の声に真摯に耳を傾け、その先頭に立たなければならぬと考えています。この重要な時期に議長という職責を担うことに、その責任の重大さを痛感しています。当市も本年は総合福祉センター及び上野原駅南口周辺整備事業といった大型プロジェクト事業が完成し、談合坂スマートインターチェンジも工事に着手するなど、山梨県の東の玄関口として、その表情が大きく変わろうとしています。人口減少という厳しい時代を迎えながらも、市当局と力を合わせ市民の皆様の利便性の向上はもとより、首都圏から多くの人々を呼び込み地域の活性化を図っていかねばと考えております。結びに市民の皆様方には変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げます。議長就任の挨拶とさせていただきます。

二元代表制のもとで
行政をチェックします

新体制の



副委員長 委員長

議会運営委員会

尾形幸召 鷹取偉一 杉本友栄
尾形重寅 田中英明 岡部幸喜



委員長 副委員長

総務産業常任委員会

鷹取偉一 杉本公文 杉本友栄 白鳥純雄
尾形重寅 岡部幸喜 川島秀夫 田中英明



委員長 副委員長

議会だより編集常任委員会

川島秀夫 遠藤美智子 白鳥純雄
久嶋成美 東山洋昭 川田好博



委員長 副委員長

文教厚生常任委員会

小俣 修 長田喜巳夫 東山洋昭 川田好博
尾形幸召 久嶋成美 遠藤美智子 山口好昭

委員 田中英明

スポーツ推進審議会

議員 川島秀夫
議員 尾形幸召

山梨県東部広域連合議会

委員 久嶋成美

地域公共交通活性化協議会

委員 久嶋成美
委員 岡部幸喜

市営住宅入居者選考委員会

委員 川島秀夫

健康づくり推進協議会

新たに決まった
各種委員等

3月定例会 定例会で決まった 主なこと

平成30年第1回定例会は、3月5日(月)から3月26日(月)までの22日間の会期で開催されました。

審議された議案

市長提出議案 49 件

※ 議案名・議決結果等は12ページをご覧ください。

議案第2号 上野原市総合福祉センター条例制定について

条例制定

福祉・健康などのための施設が まとめられました

市民の福祉向上及び健康保持を図るため、総合福祉センターが完成しました。名称は「総合福祉センターふじみ」です。

老人福祉センター・地域包括支援センター・保健センターを設置し、その目的を総合的に円滑に実施できるように条例を制定しました。



議案第4号 上野原市地域活性化条例制定について

条例制定

上野原駅南口に「観光案内所」 「バス案内所」が設置されます

地域活性化施設の設置及び管理について、必要な事項を定めるものです。この地域活性化施設内には、「観光案内所」・「バス案内所」が設置され、市の魅力ある地域情報を発信することで、観光客や駅利用者等の利便を図り、地域の活性化が目指されます。



議案第5号 上野原市農産物加工施設条例制定について

条例制定

大目地区に、農産物加工施設が 設置されます

この農産物加工施設は、旧大目保育所を改修し設置されるもので中山間地域の農業の振興を図り、農村経済の向上に寄与することが期待されます。施設の管理、運営について30年度は直営で行い、稼働状況、維持管理費などの状況を見ながら管理形態等について検討していく予定です。



議案第10号 介護保険条例の一部を改正する条例制定

条例改正

介護保険料が上がります
標準額5000円から
53000円(月額)へ

介護保険制度は3年毎の計画期間で見直されます。30年度から32年度までの事業見込みで給付総額の上昇が見込まれるので、保険料の標準額が月額5000円から53000円に引き上げられます。
それぞれの保険料は収入によって決まります。

議案第16号 平成29年度上野原市一般会計補正について

補正予算

補正額は
△8664万4千円

事業費の金額の確定による予算の増減が主なものです。その他の理由によるものの中で、主なものは次のとおりです。

地域交通対策費2539万4千円
生活バス路線の赤字の確定に伴い、維持費補助金の上限を計上しました。

農業委員会運営費234万円
農業委員・推進委員の報酬制度の改正に伴い増額しました。

秋山支所施設費1114万円
秋山支所高圧設備の早急改善が必要のため増額しました。

除雪作業委託料1634万円
雪害による除雪作業委託料を増額しました。

公園管理費55万6千円
台風21号により桂川河川公園内の漂着物処分費を増額しました。

議案第42号～議案第46号

指定管理

4月から、指定管理者に
指定しました

老人福祉センター
社会福祉法人上野原市社会福祉協議会
(平成35年3月31日まで)

森林総合利用施設
鶴川溪谷平野田休養村協同組合
(平成33年3月31日まで)

ふるさと長寿館
クレイン農業協同組合
(平成33年3月31日まで)

羽置の里びりゅう館
特定非営利法人さいはら
(平成33年3月31日まで)

新湯治場秋山温泉施設
シダックス大新東ヒューマンサービス
(平成30年6月30日まで)

7月以降は新たに指定する
予定

人事案件

教育委員の任命に同意 人権擁護委員候補の推薦

議案第48号 教育委員会委員の任命の同意について
議案第49号 人権擁護委員候補者の推薦について

教育委員の富田佳子さんの任期満了に伴って、市長から引き続き富田佳子さんを任命することに同意を求められました。全会一致で同意しました。

人権擁護委員の佐藤満さんの任期満了に伴って、市長から引き続き佐藤満さんを同候補者として推薦したいと提案がありました。全会一致で適任としました。

30年度 予算

わたしたちの納める税金の 使いみちを審査しました。

平成30年度予算は、議長を除く議員全員による予算特別委員会を設置し、3月16日、19日、20日の延べ3日間にわたり審査を行いました。

ここでは、委員会で行われた主な質疑を、要約して掲載します。



東山洋昭 委員長



遠藤美智子 副委員長

平成30年度の予算規模

一般会計

102億8276万4千円
(前年度比6億1865万4千円減)

特別会計(16会計)

70億2325万4千円
(前年度比7億4638万3千円減)

予算特別委員会

委員長 東山 洋昭
副委員長 遠藤美智子
委員 白鳥 純雄 川田 好博 久嶋 成美
小俣 修 川島 秀夫 杉本 公文
田中 英明 長田喜巳夫 杉本 友栄
尾形 幸召 鷹取 偉一 岡部 幸喜
尾形 重寅

主な 質疑 & 答弁



ふるさと納税

Q ふるさと納税で寄附金1000万円の歳入を予定していますが、実績はどうなっていますか。

A 2月末現在、419件、1535万円の寄附金が寄せられています。東京・神奈川・愛知など38都道府県にわたります。多額の寄附金もあるので、予算は1000万円としました。

ふるさと納税クレジット決済

Q ふるさと納税のクレジット決済使用料の「楽天」の取り扱い分は10%で高くないですか。

A 「ふるさとチョイス」は、委託料10%、決済使用料1%で、計11%、「楽天」は委託料4%、決済使用料10%で、計14%です。若者が利用しやすい「楽天」の導入を考えました。

ゴルフ場利用税

Q ゴルフ場利用税交付金1億709万6千円が歳入に計上されています。大事な財源ですが、どのように交付されていますか。

A 利用料金によって600円から1000円のゴルフ場利用税を県が徴収し、その7割が市に交付されます。28年度は市内で20万5700人が利用しました。

市民活動支援事業補助金

Q この事業の目的と実施状況は。

A 過半数の市民を含む構成員5名以上の団体で、地域の課題、活性化、文化活動、子育て関連等、市民が主体的に取り組む活動を支援する事業です。29年度は要件を満たした8団体に、補助対象額の8割、限度額30万円で交付しました。

教員の多忙化改善

Q 当市としての教員の多忙化は何なのかをまず、課題として取り組むべき。指導員の配置は2人で足りるのか。

A 2月に多忙化対策推進委員会を立ち上げました。今後、各学校で改善計画を作成し、改善に向けて何が必要か意見を聞き、改善に結び付けていきたいと考えています。

小中学校へのエアコン設置

Q 小、中学校へのエアコン設置状況は。

A 29年度には、国の補助事業を利用し上野原小、上野原西小に設置しました。30年度には、市単独事業として、島田小、秋山小に、その翌年度以降には、各中学校に設置を予定しています。

コンビニ納付の手数料

Q 市民のニーズに合わせて、市税をコンビニからの納付も可能にしているが、手数料はどのくらいか。

A 市税納付にかかる事務手数料については、1税目につき月額1万円（消費税抜き）の基本手数料にプラス1件60円（消費税抜き）が掛かります。

産前産後ケアセンター

Q この施設は、産前産後の母親に寄り添いサポートする施設ですが、市内の利用状況と周知方法は。

A 産前産後ケアセンター「ママの里」の利用状況ですが、29年度は1件でした。今後は、母子手帳交付時、また母親学級などで周知していきます。

病児・病後児保育負担金

Q 広域運営費を負担する、この運営の仕組みを、説明してください。

A 病児・病後児保育施設の広域運営の負担金です。県内14市町15施設を広域に利用出来る仕組みです。利用に際しては、事前に登録をしていただく必要があります。

税の徴収

Q 人口減等による市民税の落込みよりも3年に1度の見直しはあるが、固定資産税の安定に着目できるが。

A 固定資産税は安定している財源です。圏央道が繋がったことで東京や関東方面から企業立地、工業団地への誘致が出きれば、今後の対応策になると思います。

総務産業常任委員会

委員長 明英一 雄夫 文栄 喜寅
 委員 中長 偉 純秀 公友 幸重
 田中 取 鳥島 本 部 形
 副委員長 鷹取 白川 杉 岡 尾
 委員 副委員長

2月1日、地域雇用創造事業の状況について調査するため、市内にある「森の弁当箱研究センター」及び「農産物加工施設」を視察しました。

森の弁当箱研究センターでは、協議会の事業推進委員・実践指導員の方々より、実践型雇用創造事業の概況や、キヌア特産化事業、木製弁当箱等の現況について説明を受けた後、センター内の製作ラインを視察しました。

27年12月に設立された上野原市地域雇用創造協議会は、上野原市のほか上野原市商工会、クレイン農業協同組合、帝京科学大学など14団体で構成され、新たな産業の創出をはじめ、地域



森の弁当箱研究センター

の再生と活性化・雇用創出を目的として、厚生労働省から委託された「実践型地域雇用創造事業」を実施しており、栄養価が高く、ミネラル・食物繊維が豊富な農産物(キヌア)を活用した農業分野と、地域資源の木材(スギ・ヒノキ等)を活用した林業分野を地域重点分野に定め、事業期間である3年間に雇用創出目標を89名に掲げ、目標達成に向け事業に取り組んでいるとのことです。

また、農産物加工施設は、キヌアを加工する施設として今年度予算において、旧大目保育所を改修しているところで、現在、脱穀機や製粉機、石取り機、精麦機などの機材が運び込まれ、キヌアの地域ブランド化を目指し、稼働の準備がされています。

今回視察した両事業は、上野原ブランド化を目指しており、今年度で協議会が終了となりますが、引き続き目標達成に向け継続するよう要望しました。

文教厚生常任委員会

委員長 夫 巳 修 子 智博 美昭 昭
 委員 長 喜 長 修 智 博 美 昭 昭
 副委員長 田 喜 長 修 智 博 美 昭 昭
 委員 長 喜 長 修 智 博 美 昭 昭
 副委員長 田 喜 長 修 智 博 美 昭 昭
 委員 長 喜 長 修 智 博 美 昭 昭

当委員会では、2月19日市内の体育施設の状況について視察調査を行いました。当市には、桂川野球場をはじめ、桂川少年野球場兼ソフトボール球場や仲間川テニス場、秋山観光スポーツ広場、旧小中学校の体育館など30の体育施設がありますが、今回は10箇所を調査しました。

西原テニス場は、コートのみび割れ等により使用できない状態でした。仲間川のテニス場は、霜によりラインテープが浮き上がっている状況にあり、ゲートボール場は使用不可能となっていました。弓道場は弓道連盟により管理運営がされています。



西原テニス場

秋山の観光スポーツ広場と東部スポーツ広場は、主に野球の練習場として市内外からの利用者が活用されています。桂川野球場は、市内外からの利用者が多く常に整備しているとのことです。桂川テニス場は、年間の活用を見込めるとのことですが、冬期はコートのため霜によりラインテープが浮き上がる状況で、改善の必要性を確認しました。桂川少年野球場兼ソフトボール球場は、夜間照明施設があり、期間を通し利用率が高い状況にあります。市民プールは指定管理により運営され、利用者の快適な環境管理に努めていました。

委員からは、「請願の採択されている桂川テニス場は、オムニコートの必要性が確認されたため、早期の整備を求める」「初期の整備費とランニングコストについて調査を」「市民プールと秋山温泉プールの一体的な管理について検討すべき」との意見等が出されました。今後、体育施設のあり方については、市民から広く意見等を伺い対応するよう当局に要望しました。

平成30年第1回定例会議決結果等一覧表

◆賛否のあった議案

(◎賛成討論者 ●反対討論者 ○賛成 ●反対)

議案番号	案件名	付託委員会	白鳥純雄	遠藤美智子	川田好博	久嶋成美	東山洋昭	小俣修	川島秀夫	杉本公文	田中英明	山口好昭	長田喜巳夫	杉本友栄	尾形幸召	鷹取偉一	岡部幸喜	尾形重寅	審議結果
4	地域活性化施設条例制定について	総務産業	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	原案可決
7	市長、副市長及び教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について		○	○	○	○	○	○	○	◎	○	—	○	◎	○	○	○	○	
10	介護保険条例の一部を改正する条例制定について	文教厚生	○	○	◎	○	○	○	○	●	○	—	○	○	○	○	○	○	
23	平成30年度一般会計予算	予算特別	○	○	◎	○	○	○	◎	◎	○	—	◎	○	○	○	○	○	
24	平成30年度国民健康保険特別会計予算		○	○	◎	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	
26	平成30年度介護保険特別会計予算		○	○	◎	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	

◆全会一致の議案

番号	付託	案件名	結果	番号	付託	案件名	結果		
1	総務産業	旅費等の特例に関する条例制定について	原案可決	22	—	平成29年度上野原財産区特別会計補正予算(第2号)	原案可決		
2	文教厚生	総合福祉センター条例制定について		25	予算特別	平成30年度後期高齢者医療特別会計予算			
3		指定居宅介護支援等の事業に関する基準等を定める条例制定について		27		平成30年度介護サービス事業特別会計予算			
5	総務産業	農産物加工施設条例制定について		28		平成30年度公共下水道事業特別会計予算			
6		職員給与条例及び職員給与条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例制定について		29		平成30年度簡易水道事業特別会計予算			
8		市長、副市長及び教育長の給与の特例に関する条例制定について		30		平成30年度教育奨励資金特別会計予算			
9	文教厚生	福祉事務所設置条例の一部を改正する条例制定について		31		平成30年度大目財産区特別会計予算			
11		指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例及び指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について		32		平成30年度甲東財産区特別会計予算			
12		特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について		33		平成30年度巖財産区特別会計予算			
13	文教厚生	風致地区条例の一部を改正する条例制定について		34		平成30年度島田財産区特別会計予算			
14		特別工業地区建築条例の一部を改正する条例制定について		35		平成30年度上野原財産区特別会計予算			
15		手数料条例の一部を改正する条例制定について		36		平成30年度檜根外十二恩賜林保護財産区特別会計予算			
16	—	平成29年度一般会計補正予算(第9号)		37		平成30年度小金沢土室山恩賜県有財産保護組合西原分収益事業特別会計予算			
17	—	平成29年度国民健康保険特別会計補正予算(第5号)		38		平成30年度秋山財産区特別会計予算			
18	—	平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)		39		平成30年度西棚ノ入外十一恩賜林保護財産区特別会計予算			
19	—	平成29年度介護保険特別会計補正予算(第5号)		40		平成30年度病院事業会計予算			
20	—	平成29年度公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)		41		総務産業		市道路線の廃止について	同意
21	—	平成29年度簡易水道事業特別会計補正予算(第6号)		42		文教厚生		老人福祉センターの指定管理者の指定について	
				43		総務産業		森林総合利用施設の指定管理者の指定について	
				44				ふるさと長寿館の指定管理者の指定について	
				45				羽置の里びりゅう館の指定管理者の指定について	
			46	新湯治場秋山温泉施設の指定管理者の指定について					
			47	—	防災行政無線(同報系)デジタル化整備工事請負変更契約締結について				
			48	—	教育委員会委員の任命の同意について				
			49	—	人権擁護委員候補者の推薦について				

※ 正式な議案名から(上野原市)を省略しているものもあります。

新規産業の創出について
地方創生について



長田喜巳夫

質問

サテライトオフィスとは、企業等がその本拠地から離れたところにオフィスを設置することです。山梨は東京圏から近いことから県はその誘致に取り組んでいる。当市においてはまち・ひと・しごと創生総合戦略で、サテライトオフィスについて、取り組むことを明確にしているが、取り組みの状況は。

答弁

総務省は昨年4月、関係人口に対する中間とりまとめを発表している。関係人口から移住定住に、どうつなげるか。

答弁

当市の特徴を活かした企業向けの体験プログラムを整備し、相互の関係を築くことが必要であり、個々のニーズに応じた支援策を検討していきます。

質問

県の取り組みと他の自治体の取り組み状況は。

答弁

県では、ホームページ等での情報発信、都内でセミナーの開催等に取り組んでいます。県内では、早川町、甲府市、小菅村、笛吹市、甲州市、道志村などで取り組んでいます。



質問

総務省は昨年4月、関係人口に対する中間とりまとめを発表している。関係人口から移住定住に、どうつなげるか。

答弁

関係人口とは、定期的に地域を訪れたり、何らかの形で地域を応援してくれる人たちであります。移住者の交友関係から新たな移住につながる傾向にあります。このため移住者の交流会などを実施し、人と人とのつながりを広げていくことに取り組んでいます。

他に、林業について質問しました。

働き方改革が問題視されている中で、
小・中学校教員の時間外労働について



川島秀夫

質問

教員の時間外の実態を、どのように把握しているか。

答弁

山梨県26年の管理職調査で2時間以内は60%、2時間以上は27・9%という実態です。時間外勤務状態化や固定化の多い職員が課題として挙げられており週休・年休取得が困難になっている状態が見られます。多忙化の原因については公務文書に関わるもの、出張・研修参加、部活動指導、アンケート処理、保護者対応などがあげられます。

答弁

部活動顧問がオーバーワークになっているのではないかと。大会などを除いては、土日は休みにしています。モチベーションは高いものの、負担感も多いようです。多くの教員が専門的な指導方法の悩みを抱えています。29年に、教員多忙化調査を行い、改善に取り組むところです。尚、30年度には多忙化改善のため部活動指導員を2名配置する予定です。

質問

先生の時間外賃金は。特別な給与が支払われている、その中に残業料が含まれています。

答弁

特別な給与が支払われていて、その中に残業料が含まれています。

質問

俸給月額4%が一律に支払われています。これは、残業時間に換算すると、8時間に相当するそうです。或るデータで、週60時間以上は、小学校で約73%、中学校で約87%だったそうです。



他に、人口減少問題、地域雇用創造協議会、四方津駅について質問しました。

市長、所信表明について



久嶋成美

質問 上野原市における防災、減災対策は。

答弁 地域防災計画に基づいて進めています。今年は、自助、共助の要である自主防災会に出向き、自主防災組織の強化を図っているところであります。

質問

市長の所信の中に、「自主防災会の活動を支援しながら」とありますが、その支援内容は。

答弁

日程は詰めて行きたいと思っております。

意見

防災意識の啓発には、防災アドバイザー、防災リーダー、防災士等を活用し周知徹底をすべきと考えます。

他に上野原市の文化遺産について質問しました。

答弁

質問

地区毎に回る予定です。スピード感を持って各地域を回らないと、災害は待つてくれないと思うが、期限は決めるのか。

答弁

こちらから押しかけて行く



財源確保への取り組みについて



白鳥純雄

質問

上野原駅南口駅前広場、総合福祉センターふじみを管理運営するための財源確保にどのように取り組むか。

答弁

況と、団員確保に向けての取り組みについて。

答弁

各予算編成の中で事務事業の精査をしながら対応していきます。

意見

管理運営に対しては、各所の一般財源を当てるということですが、市民のための事業が基で、市民サービスの質の低下などが起こらないようしっかりと精査して頂き、取り組んで下さい。

意見

出勤報酬の見直しや、団員本人、家族などの福利厚生施設等の利用時優待も検討して頂きたい。

答弁

9路線が昭和63年に計画変更され、計画の変更が難しい。検討を進めている国道20号上野原地区まちづくり検討委員会勉強会での検討結果や今後の方向性が決まり次第、見直しの方向性を更に検討していきます。

他に、健康長寿への取り組みについて質問しました。

質問

昨年末桐原地内で起きた林野火災での消防団員出動状



子宮頸がん検診にHPV検査の併用を
自殺対策について



遠藤美智子

上野原駅南口の活性化施設について



東山洋昭

質問

近年、20代から30代の若い女性が子宮頸がんに罹る人が急増している。年間、約2900人の女性が子宮頸がん で亡くなっている。当市の子宮頸がん検診の受診率の状況は。

質問

昨年11月から相談窓口を設置しているが相談状況は。また、昨年9月の説明では、ゲートキーパーの育成をする予定と聞いているが。

答弁

現在までの相談件数は2件です。ゲートキーパーの養成講座は、来年度より市の職員への自殺予防に対する意識の高揚を図ってまいります。

答弁

30代は57・3%、20代では10・7%です。

質問

子宮頸がんの原因は、HPV（ヒトパピローマウイルス）というウイルス感染によって発症するがんです。HPV検査の併用によって子宮頸がんの早期発見につながる。市の考えは。実施機関や医療機関との協議を踏まえ、時間をいただく中で検討します。

意見

自殺への危機に陥る経過には、必ず鬱病を発症するという。鬱病対策も必要です。他に、防災・減災対策の強化について質問しました。

質問

昨年7月、各都道府県・各市町村に「自殺対策計画」が義務付けられた。今後の計画予定は。

答弁

今年度の計画案の策定を踏まえ、パブリックコメントを掲載しています。



質問

答弁

運営主体と目的は。法人化された市観光協会です。観光宣伝及び観光客の誘致並びに観光客に対する情報提供を行い、観光事業の健全な発展を促進し、地域経済の振興及び文化の発展公助に寄与することを目的としています。

質問

答弁

市長の考えを。私の地方創生の重要な施策の一つが観光振興です。市観光協会と連携して市の名所・旧跡案内、ウォーキングイベント等、様々な分野で、協力していただきながら、市の観光PRをお願いしていきます。もちろん市が全面的にバックアップいたします。

質問

市観光協会は活動する団体に変わる必要があると強く感じています。そのキーマンは事務局長だと思えます。腰かけ勤務では務まらない。観光行政に長けている必要はないと思うが、ある程度以上の知識、経験、接遇態度、取り組み姿勢等が求められるが。

答弁

意見

事務局長には、市役所のOBの方を検討しています。その方には、先程話したような色々な知識の習得や積極的な取り組み等が期待されています。担当課もしっかりとサポートしていくべ



四方津駅バリアフリー化事業



川田好博

質問 JR 四方津駅構内については、30 年度に詳細設計を行い、事業が継続されると理解してよいか。

答弁 28 年 3 月に策定した上野原バリアフリー事業計画に沿って行われると JR から聞いています。

質問 国道 20 号の歩道の整備でブリッジの西側の土地買収が進めば、市の事業が取り組めると理解してよいか。

質問 市の事業は、国道の歩道整備の詳細設計に則って進めていくということですか。

答弁 用地のめどが立てば、市として早く取り組みたいという理解でよいか。

質問 その通りです。本年度あえて予算を載せたのは、国交省にも早くしてほしいという市の心構えです。

質問 四方津駅の南側について何らかの対策が必要だと認識しているか。

答弁 道路に狭隘な区間があること、国道への出入りが不便であること、JR のガードの状況については把握しており、この地区の課題であると認識しています。

質問 西原小の廃校は、12 学級未満であることが主な条件か。「教育的な課題について総合的に判断し、保護者や地域住民の方々とも理解を得ながら考える」という文科省の方針に基づいていることを理解ください。



他に、地域づくり、情報発信について質問しました。

マイナンバー制度について
秋山温泉と市民プールの指定管理について



尾形幸召

質問 通知カードは全市民に通知されているか。

答弁 27 年末に市民全員に送付済、また、出生者等は順次送付済です。

質問 マイナンバーカードの作成市民の進捗状況は。

答弁 現在の交付枚数 2390 枚で市民の約 10% です。

質問 通知カードとマイナンバーカードの違いは。

答弁 マイナンバーカードは写真付き、本人確認ができ行政手続き上利便性が高い。

質問 市としてマイナンバーカードの普及策は。

答弁 申請手続きの写真は市民課で撮影し普及率を高めます。

質問 秋山温泉の過去 3 年間の運営経費は年いかほどか。

答弁 年間当たりの経費は 272 万 9 千円です。

質問 年間の来場者と売上額は。

答弁 来場者は 9 万 9 800 人、売上額は 9630 万 4 千円。原価、管理費は 1 億 3

質問 352 万 9 千円。営業損益は 3475 万 5 千円です。市民プールの運営経費は。

質問 市民プールの運営経費は。

答弁 年間の運営経費は 2111 万円です。

要望 今年度の予算では、秋山温泉 6728 万円。市民プール 2122 万円。合計 8850 万円の計上です。今後、両施設の老朽化対応の経費は増加します。答弁にもありましたが、高血圧症、糖尿病、腎症等、温泉治療が可能なのが秋山温泉のところです。積極的な PR 活動とそれに対応した食事療法の推進を望みます。



情報基盤整備事業について



杉本公文

質問

江口市長は、行政放送は無料という基本協定があるにも関わらず、U B Cに年間3千万円を支払う合意をしたが、その支払いの根拠となる大型提携資本はどうなったのか、又、経営は改善したのかを、伺います。

答弁

人に株式を譲渡し経営者が変わっただけで、赤字経営の中身は変わっていないのではないかと加入者の状況と今後の方針は。

答弁

同意事項に基づく3千万円の支払いは、一定の行政側の使用料と決め執行しました。大型資本の参加導入については、U B Cの努力の中で、代表者の交替や株式譲渡の実行により、新たな組織の再編を確認したところですが、今後の経営については、書面で経営計画も確認し、金融機関の合意も後ろ盾になり合意事項の履行に至ったものです。

質問

合意文書では提携資本を条件としているのに現状は、資本の増強も4億円を超える債務超過の改善もなされていない大型資本でもない個

加入者の状況は、30年2月末現在、テレビは4305件、ネットは1401件で昨年の同月と比べると、それぞれ83件、31件のマイナスです。今後については、現時点において経営やサービスの内容を見れば、急に変更はできないのでU B CとI R U契約を更新したいと考えております。

他に、請願、陳情処理について質問しました。

◆市内学生の一般質問傍聴◆

3月15日、日本大学明誠高等学校の1年生4名、2年生4名の合計8名の生徒の皆さんが本会議（一般質問）を傍聴しました。都内から上野原に通学されている皆さんもこの傍聴をきっかけにお住まいの地域の議会に足を運び、地域の課題や世の中の動きなどに関心を持ってもらえたら嬉しいです。



明誠高校2年 小川瑠璃さん

私が関心を持った一つの言葉として、議員が何でも話されていた「市民」という言葉です。どの問題を話すにあたって、まずは土台となる私たち市民の意見が大切になってくるのだとあらためて実感しました。

今年で私は18才になり選挙権を持つ立場になります。が、今日の体験を通じて、より選挙という自分自身の意見を発信できる機会を大切にしなければならぬと強く感じました。



明誠高校の生徒の皆さん

議会活性化に向けて

市区長会と市議会の意見交換会を行いました。



1月24日、市議会では、議員の定数と報酬について、各地区区長会会長など代表者と意見交換会を行いました。

当日は、市議会からは正副議長と議会活性化検討特別委員会の正副委員長が出席し、各地区代表者からは地区における活発な意見等が発表されました。

長野県安曇野市議会

議会だよりの編集について視察

行政視察 受入



2月5日、長野県安曇野市議会広報特別委員会の8名の方が議会だよりの編集について視察に訪れました。主に、議会だより編集常任委員会委員が、議会だよりの改革の経過など、パワーポイントなどを使って説明しました。安曇野市の委員の方々は、特に「特集うえのはらで頑張る人」について関心を持たれ、取り組み始めたきっかけ、人選の方法などについて質問がありました。説明後の質疑応答で活発な意見が出され、双方の「議会だより」の編集の向上に役立つ交流がなされました。

兵庫県川西市議会

市立病院の指定管理者制度について視察



2月5日、兵庫県川西市議会市立病院整備調査特別委員会の9名の方が市立病院を訪れ、「市立病院の指定管理者制度」について、視察調査されました。

当日は、長寿健康課職員より、指定管理者の導入の背景やプロセスに加え、指定管理者との協定の概要や指定管理者導入による効果と課題について説明した後、活発な質疑が行われました。

初入选!!
山梨広報
コンクール

第48号議会だより 奨励賞を受賞しました



1月19日、平成29年度山梨県広報コンクール合同審査会が開催され、平成29年2月に発行した第48号上野原市議会だよりが、議会広報誌部門【市部】において、奨励賞を受賞しました。

県下、11市から応募があった議会広報誌の中から厳正に選考されたもので、当市議会は初受賞となります。

この受賞を励みに、今後も委員一同、市民の皆さまが親しみやすく読みやすい紙面づくりに努めてまいりたいと思います。

平成30年定例会日程案のお知らせ

6月定例会

月日	曜日	会議区分	内容
6月4日	月	本会議	議案上程等
6月5日	火	議案調査	
6月6日	水	委員会	総務産業
6月7日	木	議案調査	
6月8日	金	委員会	文教厚生
6月11日	月	議案調査	
6月12日	火	議案調査	
6月13日	水	本会議	一般質問
6月14日	木	本会議	一般質問
6月15日	金	本会議	一般質問(予備)
6月18日	月	議案調査	
6月19日	火	本会議	議案審議等

9月定例会

月日	曜日	会議区分	内容
9月3日	月	本会議	議案上程等
9月4日	火	議案調査	
9月5日	水	委員会	総務産業
9月6日	木	議案調査	
9月7日	金	委員会	文教厚生
9月10日	月	議案調査	
9月11日	火	議案調査	
9月12日	水	本会議	一般質問
9月13日	木	本会議	一般質問
9月14日	金	本会議	一般質問(予備)
9月18日	火	委員会	決算
9月19日	水	委員会	決算
9月20日	木	委員会	決算(総括)
9月21日	金	議案調査	
9月25日	火	議案調査	
9月26日	水	本会議	議案審議等

12月定例会

月日	曜日	会議区分	内容
11月27日	火	本会議	議案上程等
11月28日	水	議案調査	
11月29日	木	委員会	総務産業
11月30日	金	議案調査	
12月3日	月	委員会	文教厚生
12月4日	火	議案調査	
12月5日	水	議案調査	
12月6日	木	本会議	一般質問
12月7日	金	本会議	一般質問
12月10日	月	本会議	一般質問(予備)
12月11日	火	議案調査	
12月12日	水	本会議	議案審議等

※日程については、追加・変更になる場合があります。
正式には、各定例会の本会議(初日)に決定します。

市民の声

中学校を卒業して

上野原中学校を卒業し、3年間を振り返ってみると、たくさんの思い出が浮かんできます。学園祭である若鷺祭や、修学旅行などの行事はもちろん、毎日の学校生活もとても充実したものでした。部活動では、仲間と汗を流し、つらい練習も励まし合って乗り越えました。勉強面では、テスト前には問題を出し合ったり、一緒に勉強したり。そんな毎日も大切な思い出になりました。また生徒会長を務め、学校全体をまとめていく中で、みんなと楽しかったこと、つらかったこと、さまざまな経験を共にしました。それらを通して、仲間の大切さを改めて感じ、物事を乗り越えたときの達成感を味わうことができました。仲間に支えられたからこそ、どんなこともやり遂げることができました。

今年度から上野原中学校はコミュニティ・スクールとなり、地域の皆さんとの関わりも深くなります。後輩たちが、生徒会執行部を中心に地域に根ざした活動を広めてくれればと思います。そして地域の皆さんにもっと上野原中学校のことを知っていただけたら嬉しいです。

これからも、私たちはたくさんの人に支えられていることを忘れず、そして常に感謝の気持ちを持っていたいと思います。今まで支えてくださった方々に、早く恩返しができるよう頑張ります。上野原がさらに明るく、温かいまちになるよう、これからも地域に貢献していきたいです。



一戸 咲希さん

6 月定例会予定

日	月	火	水	木	金	土
6/3	4	5	6	7	8	9
	本会議 (初日)	議案調査	総務産業 常任委員会	議案調査	文教厚生 常任委員会	
10	11	12	13	14	15	16
	議案調査	議案調査	一般質問	一般質問	一般質問 (予備日)	
17	18	19	20	21	22	23
	議案調査	本会議 (最終日)				
24	25	26	27	28	29	30

一般質問傍聴 託児サービスを ご利用ください



市議会では、一般質問を傍聴する際、満1歳以上から就学前までのお子さんを無料でお預かりする託児サービスを実施しております。

ご希望の場合は、傍聴希望日の一週間前までに、議会事務局（62 - 3344）へお申し込みください。

※通常の傍聴には予約の必要はありません。傍聴当日、3階議会事務局受付までお越しください。

編集後記

新緑の青葉に清々しさを感じる季節になりました。通園通学の時間帯に車を走らせていると、遠ざかる我が子に手を振りながら見送るお母様方の、ホッとしたような、少し寂しいような、そんな姿をお見かけします。子供・家族・仕事・地域と、それぞれの思いを胸に、日々の暮らしと向き合いながら今日を大切に生きている事を感じます。この地に暮らす全ての方、子供たちの未来が明るく照らされるための一助となれるよう、しっかり市政と向き合い取り組んで行かなければならないと、あらためて心に誓い、身の引き締まる議員2年目の春です。
(白鳥)

議会だより編集常任委員会
委員長 東山 洋昭
副委員長 川田 好博
委員 白鳥 純雄
委員 遠藤美智子
委員 久嶋 成美
委員 川島 秀夫

